



2023年8月10日

各 位

会社名 エンシュウ株式会社  
代表者名 代表取締役社長  
社長執行役員 鈴木 敦士  
(コード：6218 東証プライム)  
問合せ先 管理本部  
経営管理グループ長 大野 裕哉  
(TEL. 053-447-2111)

「スタンダード市場への選択申請の決定」および  
「新中期経営計画の目指す姿」に関するお知らせ

1. 「スタンダード市場選択申請の決定」について

当社は、2021年11月4日に「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」を提出しプライム市場の上場維持基準の適合を目指してまいりましたが、直近でのプライム市場の上場維持基準の適合状況等を踏まえ、本日開催の取締役会でスタンダード市場への選択申請をすることを決議いたしました。

自動車業界のEV量産化に向けた設備投資の本格化が想定より遅れており、当社工作機械事業の売上高拡大も遅れております。部品加工事業は順調に拡大しておりますが、中期計画の達成時期が遅れる見通しとなり、2026年3月までのプライム基準クリアが厳しくなったものと判断いたしました。

今後、国内のEV量産化投資は2025年度から本格化するという想定のもと、「新中期経営計画の目指す姿」を策定いたしました。内容につきましては、後述の通りであります。

2. 「新中期経営計画の目指す姿」について

現在、中期経営計画(2021-2025年度)の見直しに着手しており、この度別添「新中期経営計画の目指す姿」を策定いたしました。今後はこれをベースに、2024年4月をスタートとする新中期経営計画

“**M a k e a N e w E n s h u**”(5ヵ年)を策定し、2024年5月にこれを開示する予定です。

以上

# 新中期経営計画で目指す姿

2023年8月10日

 エンシュウ株式会社

## 現状認識

- (1) 部品加工事業における仕事量の拡大は順調に推移
- (2) 工作機械事業において、自動車業界のEV量産化に向けた設備投資の本格化は想定より遅れ

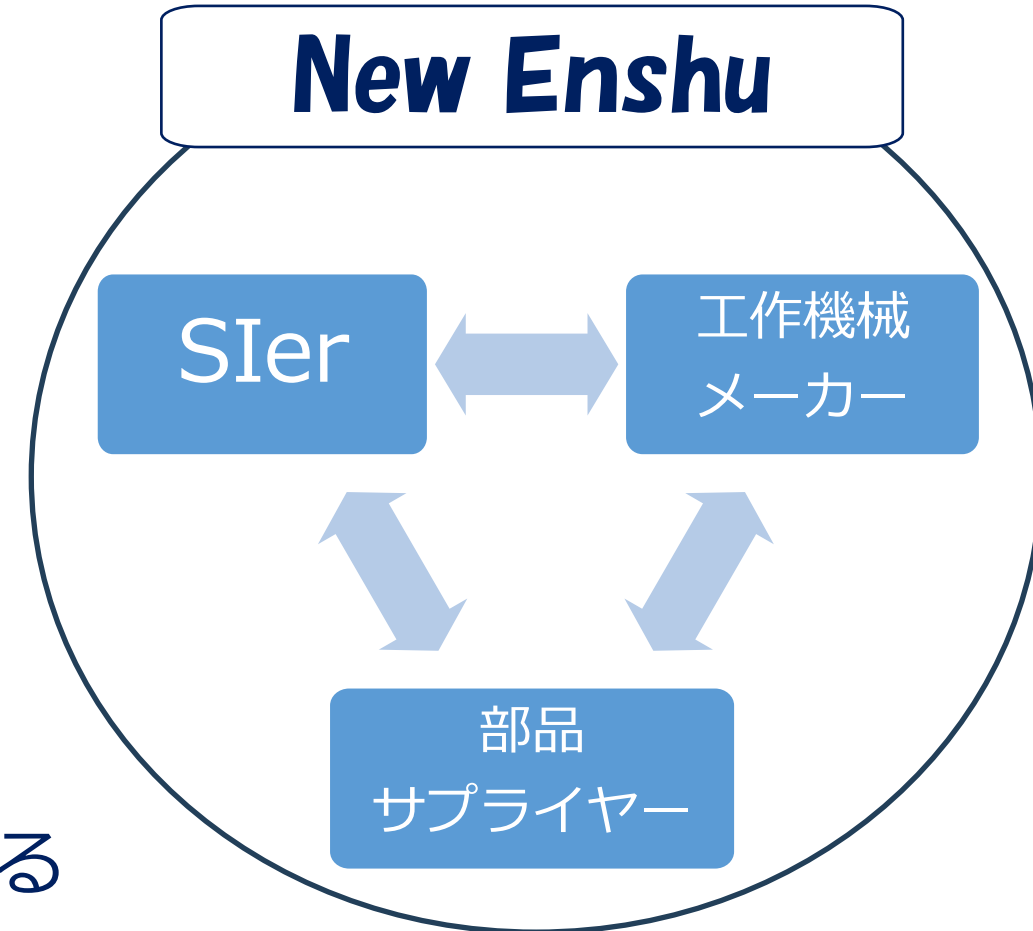
## 今後の計画

今後、国内のEV量産化投資は2025年度から本格化する  
 想定のもと、現中計の「チャレンジ500」売上高500億円  
 については、3年遅れとなる2028年度の達成を目指す

# 目指す姿 “Make a New Enshu”

## ●お客様

- ・ 少子化、EV化等を背景とした新しいモノ作りに貢献する  
**「S I e r」と「工作機械メーカー」**を目指します
- ・ **「部品サプライヤー」**としての付加価値を追求します
- ・ 3つの事業シナジーを最大限に発揮するユニークな会社を目指します



※S I e r : システムインテグレーター  
 (省力化、自動化を提供)

# 目指す姿 “Make a New Enshu”

## ● 投資家

- ・ 成長戦略を絶えず見直し開示します
- ・ R O E 10%以上を目指します
- ・ 配当性向30%以上を目指します

## ● 社会貢献

- ・ CO2排出量38%削減を2030年度に達成します  
(Scope1,2について2014年度比)
- ・ 地域貢献活動を積極的に推進します

## ● 従業員

- ・ 挑戦した人が評価される制度を導入します
- ・ 挑戦する人のキャリアアップを支援します
- ・ 年収10%UPを目指します

# 新中期経営計画・目標値

- ・ 2028年度に売上高500億円を目指します
- ・ 2025年度PBR1倍超、ROE 10%超を目指します

## 連結損益目標

[億円]

		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
全社	売上高	250	285	310	<b>360</b>	410	460	<b>500</b>
	営業利益率	0.3%	3.7%	5.0%	<b>6.0%</b>	6.0%	6.0%	<b>6.0%</b>
	営業利益	1	11	16	<b>22</b>	25	27	<b>30</b>
	PBR ※	0.4倍	0.4倍	0.8倍	<b>1.0倍</b>	1.1倍	1.1倍	<b>1.1倍</b>
	ROE	-1%	4%	8%	10%	11%	11%	11%

※PER10倍想定

(今後の施策策定を踏まえ、修正の可能性がございます)